

ふるさととの環境づくり 企業が取り組むCSR 情報発信フォーラム・第1回

地域貢献を目指す企業の 情報発信力が問われる時代

阿賀野川流域で公害の発生が確認されてから50年が経過した現在、当時の企業活動とは異なり、環境・人権・地域貢献など様々なCSR活動が盛んです。しかし、せっかくの成果を社会や地域にうまく伝達できていない企業も少なくありません。本フォーラムでは、CSRにおける情報発信の意義やメリット、手法について皆さんと共有します。

2016年3月29日(火) 13時半~16時半(受付13時~)

会場

新潟ユニゾンプラザ5F大研修室
(新潟市中央区上所2-2-2)

対象

企業・NPO団体 & 県民

参加費

無料

第1部 講演

企業と社会との共有価値の創造
-「協創力」が稼ぐ時代-



(株)伊藤園

常務執行役員
CSR推進部長

ささや ひでみつ
笹谷 秀光 氏

1977年農林省(現農林水産)入省、2008年退官。同年伊藤園入社。2014年7月25日より現職。CSR・環境を担当。

話題提供

- 国際規格ISO26000にいち早く着目し伊藤園に取り入れたCSR施策の再編手法とは?
- 「協創力が稼ぐ時代」の新たな経営戦略として注目される「発信型三方よし」とは?

第2部 発表

県内企業のキラリと光るCSR事例紹介
新潟らしいCSRを探る



1.異業種の介護事業
クラレテクノ(株)新潟営業所所長・斎藤茂雄氏



2.地元の米・森づくり
麒麟山酒造(株)代表取締役社長・齋藤俊太郎氏

3.鹿瀬工場の排水見学
一般社団法人あがのがわ環境学舎職員・山崎陽

4.公害資料館リニューアル
環境と人間のふれあい館副参事・高野栄芳

主催:新潟県(担当:新潟県立環境と人間のふれあい館) お問い合わせ:0250-68-5424 (一社)あがのがわ環境学舎

共催:新潟CSR研究会・一般社団法人あがのがわ環境学舎 後援:新潟商工会議所・新潟県経営者協会・新潟県中小企業家同友会

工場排水に含まれた有機水銀が阿賀野川に流れ出て被害が発生した新潟水俣病が、昭和40年に公式に確認されてから50年が経過しました。

現在、新潟県が官民協働で展開する、阿賀野川流域の地域再生を目指した取組「阿賀野川え〜とこだプロジェクト」(阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業)では、昭和電工(株)等と協働してCSR研修プログラムを提供しています(※当日はこの昭和電工(株)との取組事例も発表いたします)。

現代では当時とは異なり、多くの企業が環境や人権に配慮したり、地域貢献などを目指す様々なCSR活動に熱心に取り組んでいます。今後、公害を二度と繰り返さない社会の実現を目指すためにも、こうしたCSRに取り組む企業を「ふるさとの環境づくり企業」と位置づけ、その「キラリと光る」取組事例の情報発信を推進します。



▲昭和電工(株)等と協働したCSR研修の様子



(株)伊藤園 常務執行役員・CSR推進部長 菅谷秀光氏

東京大学法学部卒業。1977年農林省(現農林水産)入省。人事院研修で1981-1983年フランス留学、外務省出向(1987-1990年在米国日本大使館一等書記官)。農林水産省にて、中山間地域活性化推進室長、市場課長、牛乳乳製品課長、国際経済課長、農林水産技術会議総務課長等を歴任。2003年環境省大臣官房政策評価広報課長、2005年環境省大臣官房審議官、2006年農林水産省大臣官房審議官、2007年関東森林管理局長を経て、2008年退官。同年伊藤園入社、知的財産部長、経営企画部長等を経て2010-2014年取締役。2014年7月25日より現職。CSR・環境を担当。現在、多様なテーマの、講演・シンポジウムに登壇多数。著書「CSR新時代の競争戦略-ISO26000活用術」、「ビジネス思考の日本創生・地方創生 協創力が稼ぐ時代」



クラレテクノ(株)

新潟営業所所長
齋藤 茂雄 氏

麒麟山酒造(株)

代表取締役社長
齋藤 俊太郎 氏



開催概要

対象:企業・NPO等、県民 / 参加費無料

- 日時:3月29日(火) 13時半～16時半(受付13時～)
- 場所:新潟ユニゾンプラザ5F大研修室(新潟市中央区上所2-2-2)
- 申込方法:必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにて下記申込先までお申し込みください。
- お問合せ・お申込み先:一般社団法人あがのがわ環境学舎
TEL&FAX:0250-68-5424 / ✉ aganogawa@niigata.email.ne.jp

企業・団体用 参加申込書

※FAXの場合、送付用紙は必要なくこのまま送信願います。E-mailの場合、件名を「3/29CSRフォーラム申込」としてお送りください。

企業名				住所		
参加者	ふりがな 氏名			所 役	属 職	
	ふりがな 氏名			所 役	属 職	
	ふりがな 氏名			所 役	属 職	
電話番号	FAX		E-mail			

個人用 参加申込書

※FAXの場合、送付用紙は必要なくこのまま送信願います。E-mailの場合、件名を「3/29CSRフォーラム申込」としてお送りください。
なお、いただいた個人情報は、流域再生事業の実施を目的とした用途以外に使用することはありません。

ふりがな お名前	住所	〒	電話番号
-------------	----	---	------